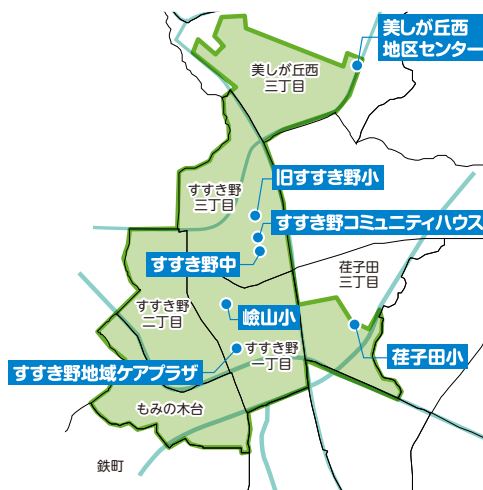


すすき野地区

すすき野地区は川崎市に隣接する区北西部に位置し、かつてはなだらかな丘陵地帯でした。現在は集合住宅と戸建住宅が立ち並んでいます。地域活動も活発で、「ふるさと祭り盆踊り大会」は、区内最大と言われています。ただ、少子高齢化は顕著で、特に高齢者の割合は区内でも高く、地域活動を推進する上で担い手不足が深刻な状況です。

今後、横浜市営地下鉄あざみ野駅からの延伸に伴い、次世代の方々にとっても魅力ある生活拠点となるように、連合自治会を中心として「青葉区まちづくり計画」を受け「すすき野まちづくり」プロジェクトを推進しています。



地区内の町丁目 美しが丘西三丁目（一部）、桂子田三丁目（一部）、すすき野一丁目・二丁目・三丁目、もみの木台、鉄町（一部）

第3期計画の振り返り

- 第3期計画目標の推進を継承することとし、「福祉保健計画推進委員会」「福祉活動団体懇談会」「福祉討論会」を通じ、より地域課題の共有と解決策の検討を進めてきた。
- 「すすき野福祉保健計画NEWS」「すすき野地区社協広報誌」の発行などにより、情報や人材不足の改善に取り組んでいる。
- 役員・担い手の負担軽減に向けた現在業務の見直し、改善・工夫を、団体毎に取り組んでいる。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、スポーツ推進委員、地域福祉団体

地域で行われている活動



ふれあいフェスティバル



ふるさと祭り盆踊り大会



高齢者の集い

5年後にめざしたいまちの姿

「住んでみたい」「住み続けたい」と思えるまち ～地域コミュニティに多世代が参加、和やかに安心して暮せる～

目標1 地域コミュニティづくりの促進



取組

- 自治会・町内会、福祉活動団体（老人会、子ども会等）の活動を促進し、多世代が参加し易い地域コミュニティをつくる
- 地域コミュニティを構築するため、次世代の意見を積極的に取り入れる
- 各団体と密接に連携を図ることにより情報を共有し、多くの人が参加できる地域コミュニティをつくる

目標2 生活環境の充実



取組

- 植栽・清掃活動を通して、緑が多く綺麗なまちづくりを推進する
- 「見守り・安否確認」の活動を充実し、高齢者・子育て世代の孤立、引きこもりを減少する
- 災害時の「自助・共助・近助」の重要性を周知し、“人と人の繋がり”を深める
- 防災防犯意識を高め、自治会・町内会活動を通して地域の安全性を強化する

目標3 人材を活用した地域づくりの促進



取組

- 地域活動に関心を持ってもらうように、広報活動の充実を図る
- 「要支援者が安心して住み続けられるまち」「子育て環境の充実したまち」をテーマに、多世代が参加・協働して地域づくりを行う
- 地域活動についてのヒヤリング・意見交換する機会を設け、幅広い世代の参加を促す
- 役員業務の負担を軽減・分散することで、次世代が地域活動に参加しやすい環境を整備する
- 地域活動のデジタル化を推進し、活動時間・活動場所の自由度を高める